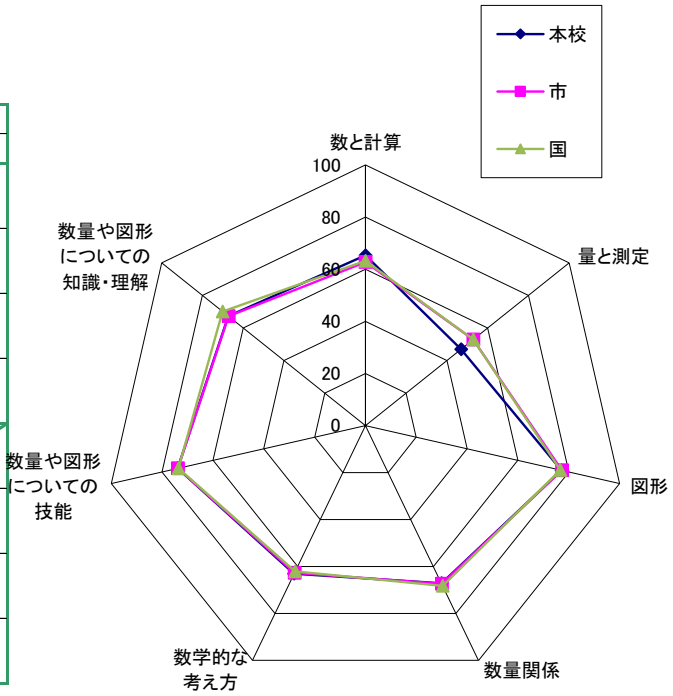
宇都宮市立富士見小学校第６学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国，市と本校の状況

【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	65.3	62.7	63.2
	量と測定	46.9	52.9	52.9
	図形	77.1	77.3	76.7
	数量関係	67.2	67.4	68.3
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	63.1	62.7	62.2
	数量や図形についての技能	73.9	73.8	73.6
	数量や図形についての知識・理解	67.3	67.2	70.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○本領域の平均正答率は65.3%で，国の正答率を2.1ポイント上回った。 ○加法と乗法の混合した整数と小数の計算をする問題では，平均正答率が66.2%で，国の正答率を6.1ポイント上回った。 ○示された計算の仕方を解釈し，減法の場合を基に，除法に関して成り立つ性質を記述する問題では，国の正答率を11ポイント上回っているが，本校の平均正答率は42.1%と低かった。 ●除法の意味についての問題では，平均正答率が41.1%であり，国の正答率を5.6ポイント下回った。	・除法の意味を再確認する機会を確保する。 ・除法のきまりや計算の工夫を必要とする問題について繰り返し演習する。 ・文章問題の場面を捉え必要な情報を的確に把握できるように，様々な形式の文章問題に繰り返し取り組ませる。
量と測定	●本領域の平均正答率は46.9%で，国の正答率を6ポイント下回った。 ●示された図形の面積の求め方を解釈し，その求め方の説明を記述する問題では，平均正答率が34.6%で，国の正答率を9.3ポイント下回った。 ●資料の特徴や傾向を関連付けて，一人当たりの水の使用量の増減を判断し，その理由を記述する問題では，平均正答率が45.9%で，国の正答率を6.2ポイント下回った。	・問題場面から必要な情報を正確に捉え，順序立てて説明する活動を意図的に設定する。 ・他教科との関連を図り，グラフを関連付けて読み取る経験を積み重ねることで，複数のグラフを読み取ったり変化の意味について考えたりできるようにする。
図形	○本領域の平均正答率は77.1%で，国の正答率を0.4ポイント上回った。 ○図形の性質や構成要素に着目し，ほかの図形を構成する問題では，平均正答率が60.9%で，国の正答率を0.6ポイント上回った。	・日常生活の中で，様々な図形の性質を確認することで，さらなる理解の定着を図る。 ・合同な図形を敷き詰めてできる形や模様作りを家庭学習等に取り入れる。台形以外の図形でも取り組む。
数量関係	●本領域の平均正答率は67.2%で，国の正答率を1.1ポイント下回った。 ○目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだす問題では，平均正答率が88.7%で，国の正答率を6ポイント上回った。 ●棒グラフの情報から水の使用量の変化の関係について読み取る問題では，平均正答率が74.4%で，国の正答率を4.2ポイント下回った。	・文章問題を読み取り，与えられた情報から答えを導き出す活動を工夫して行っていく。 ・2つの数量関係を正しく捉えられるように，数多くの類似問題を解くことで定着を図る。